



中高生フォトグラファー応援マガジン

boys & girls photo magazine 2020 2-3 TopEye No.305



第194回
TopEye
賞

「AM 7:30」岡崎 ひなた

[和歌山県立神島高等学校 2年]

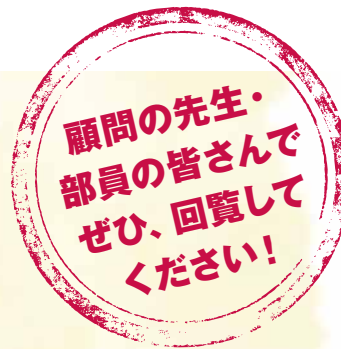


2019年度
「TopEyeフォトコンテスト」
年度賞発表!

45人の高校生とプロ写真家が
横浜で写真を探究した3日間
TopEye
全国高校生写真サミット2020
密着レポート

ガンバレ写真部!
はっちゃけてます!突き詰めています!
熊本県立第二高等学校

「ありがち写真」から一歩踏み出す誌上写真教室
TopEye フォトスクール
学校で手づくりの「写真展」を開催しよう!



「TopEyeフォトコンテスト」受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください!

ニコントップアイ

検索



2019
年度

TopEye フォトコンテスト 年度賞 受賞校発表!!

これからも、思考と模索を続けてください／審査員 藤岡亜弥
応募作品には、高校生ならではの新鮮な視点が生きた写真や、実験的で楽しい作品が多く、毎回皆さんの作品からエネルギーをもらっています。演出写真が上手な写真部、いいプリントができていて写真部、スナップ写真で瞬間を切り取るのがうまい写真部、と学校ごとの個性や特色がにじみでており、それぞれが自分のやり方を模索しながら一生懸命取り組んでいることを感じることが出来ます。写真を通して思考することが、この「TopEyeフォトコンテスト」の醍醐味と言えるでしょう。年度賞を獲得された皆さん、本当におめでとうございます!

多くの学校が甲乙つけがたい力／審査員 熊切大輔
本年度から審査員に加わり、楽しく審査させていただきました。高校生の自由な発想と大胆な表現力に驚かされる一年でした。そんな中、年度賞を獲得した和歌山県立神島高等学校は、昨年に引き続きの受賞ということで安定した強さを発揮してくれました。しかし私の印象としては他の学校も同等の力を発揮しており、その差は僅差でどの高校が最優秀賞に選ばれてもおかしくないものでした。今後、中学生、高校生の写真に期待したいと思います。

最優秀賞

賞品／賞状、楯、D7500 18-140VR レンズキット、エプソンプリンター

和歌山県立神島高等学校

部員数：26名
部長：岡崎 ひなた さん (2年) 副部長：岸 祐香 さん (2年)、楠本 遥香 さん (2年)
顧問：恵納 崇 先生、原 あかね 先生



協賛：エプソン販売株式会社



喜びの声!

今年度は3回目終了時点で5位。最優秀賞はまさか、まさかです。撮ることを通して、世界との関わり方を考えていきたいと思います。ありがとうございました。

他校へエール!

今回の「写真サミット」では、各校の作品から写真で伝えることの可能性を学びました。切磋琢磨しながら、写真に向き合っていきたいと思います。

受賞のヒケツ!

一人一人撮りたいものが違うのですが、「光」を大切にしようといつも話し合っています。

先生も一言!

写真を通していろんな経験ができると思います。素敵なことだと思います。でも、原点に戻って、一枚一枚の写真にまっすぐに向き合うひたむきさを大切にしてほしいと思います。

編集部から

年度最後のTopEye賞で、3年連続の最優秀賞! 毎回異なる生徒さんが入賞しておられ、層の厚さを感じさせます。今後もバワフルに進んでください!

最後列：中谷 豪 さん(1年)、太田 真緒 さん(1年)、道畑 あおい さん(1年)、山本 和花 さん(1年)、尾崎 小梅 さん(1年)、横矢 結奏 さん(1年)
後列2列目：楠本 遥香 さん(2年)、谷口 朱胡 さん(1年)、北原 紫音 さん(1年)、山下 恋奈 さん(1年)、湯川 紗愛 さん(1年)、原 令奈 さん(1年)、日用 彩貴 さん(2年)
後列3列目：岸 祐香 さん(2年)、十林 穂乃花 さん(2年)、岡崎 ひなた さん(2年)、伏見 凜音 さん(2年)、芝田 菜穂 さん(2年)、下浦 菜緒 さん(2年)、中井 千尋 さん(2年)
最前列：中嶋 悠大 さん(3年)、松山 響子 さん(3年)、宮崎 美奈 さん(3年)、寶 雄 ちひろ さん(3年)、栗川 夏帆 さん(3年)、山本 莉乃 さん(3年)



しょっちゅうご飯を作っちゃう。



穴があるといっちゃう。



川で泳ぎながら撮っちゃう。



お歯黒を塗っちゃう。

優秀賞

賞品／賞状、楯、D5600 18-140VRレンズキット、エプソンプリンター



協賛：エプソン販売株式会社

宮城県白石工業高等学校

部員数：19名
部長：片桐 栄耶 さん (2年) 副部長：會田 月音 さん (2年)、佐藤 希龍 さん (1年)
顧問：八嶋 圭吾 先生、平野 伸一 先生



最後列：前田 瑞希 さん(3年)、加藤 麗 さん(1年)、佐藤 光希 さん(2年)、片桐 栄耶 さん(2年)、小野 寛輝 さん(2年)、佐藤 希龍 さん(1年)、村上 優輝 さん(3年)、八嶋 圭吾 先生
2列目：安藤 琉 さん(2年)、佐藤 大輝 さん(2年)、佐藤 希乃花 さん(2年)、佐久間 麻由 さん(2年)、會田 月音 さん(2年)、佐藤 寧々花 さん(3年)
最前列：平野 伸一 先生、前川 原 拓人 さん(1年)、阿部 拳士朗 さん(3年)、細井 優成 さん(2年)、古山 大聖 さん(3年)、矢野 貴也 さん(2年)
円内：鈴木 優太郎 さん(1年)

喜びの声!

前半ではあまりポイントが取れず、部全体(特に八嶋先生)がものすごく焦っていたのですが、そこからなんとか優秀賞を頂く事が出来ました!これも部員の仲間、そして先生のご指導のおかげです!これからも益々精進してまいります!本当にありがとうございました!

他校へエール!

ライバルがいるということはとても素晴らしいことだと思います。青春時代を生きた証として、記憶に残る写真をたくさん撮って共に頑張っていきたいと思います。

受賞のヒケツ!

写真家の写真集を積極的に見たり、普段から「写真脳」になって撮りたい被写体を探したり、一つの被写体をたくさんの角度から撮ることを意識して撮影しています!

先生も一言!

年度賞受賞は長年の目標でしたので、本当に嬉しい限りです。今年度は入選以上が1作品しかなく、これは部員全員で得た賞だと思います。部員のみんな、先輩たち、支えてくださった先生方、地域の方々、そしてNikonの関係者の皆様に感謝申し上げます。

編集部から

実は初の年度賞、というのが意外に思えるほど、TopEyeではおなじみの写真部です。色や形を巧みに活かした印象的な作品を、今後もどんどん生み出してください!



モデル撮影会もやります。この時は仙台で。



学校は県の南の方ですが、撮影会では北端の栗駒山にも足を伸ばします。



部内の講習会。それぞれの作品を机上にあげて、ああだこうだとぎゃかです。



かと思えば合宿では東京に行っちゃったり。

敢闘賞

賞品／賞状、楯、D3500 18-55VR レンズキット



群馬県立富岡実業高等学校

部員数：9名
部長：石井 百香 さん (2年) 副部長：宮下 星来 さん (2年)
顧問：布目 紀佳 先生



上段左から：増田 広明 さん(1年)、熊谷 翼 さん(2年)、三田 特煥 さん(2年)、三ツ木 夢夏 さん(1年)
下段左から：石田 智千都 さん(1年)、篠原 謙吾 さん(2年)、石井 百香 さん(2年)、宮下 星来 さん(2年)

他 生 徒：小坂 橋 翔生 さん(1年)

喜びの声!

夢に見た。全国に飛び立つ夢。その日からストイックな生活が始まった。夏には汗を垂らしながら鍋を食べ、冬には凍えながら鍋を食う。食べて食べて食いまくる!そして手に入れた全国への道。そして今日も鍋を...

他校へエール!

ああ、終わってしまった冬の陣。全国に散らばる友との共闘も今はただ懐かしい。だが、これで終わりではない!

そして私は再会の日を夢見て鍋を食す。

受賞のヒケツ!

食って寝て撮って、あわよくば365日恋をするのがポイント! 「1日限りの恋」*では物足りない!後はひたすらカメラを止めるな!現場からは以上です。

※10ページ「写真サミット2020」特集 作品ギャラリーをご覧ください。

先生も一言!

昨年2名からスタートした写真部も、TopEyeに立派に育てていただきました。このまま来年も他力本願で生徒が育たないか画策しておりますので、我こそはという素敵なお方がありましたら一緒に鍋でも囲みましょう。

編集部から

キター! 作品でもご披露いただいた、怒涛の顔パワー。スタート2年目にしてTopEye賞&写真サミット参加&年度賞の勢いで、今後も高校写真に嵐を呼んでください!



食べて! 食べて! 食べて!!! 食べてまくる!!!

YEAH!

2019年度 年度賞の選考について

2019年6-9月号から2020年2-3月号まで、4回分の「TopEyeフォトコンテスト」への応募を対象に集計しています。採点項目は①TopEye賞 ②準TopEye賞 ③入選 ④佳作 ⑤準佳作 ⑥皆勤校ポイントからなり、各項目の合計ポイントを算出。ポイント1位が最優秀賞、2位が優秀賞、3位が敢闘賞となっています。

TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3500レンズキット
- ・賞状

表紙に大きく載ってるよ!!



「AM 7:30」岡崎 ひなた

和歌山県立神島高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm
- Aオート (f/5.6, f/4.5, f/4, f/4)
- 露出補正: -0.7EV, -0.7EV, -0.3EV, -0.7EV
- ISO400, 1600, 400, 1600

非常にシンプルな被写体と表現方法でありながら、その撮影力の高さが光る作品でした。近所の公園で遊ぶ少年少女。ありふれた日常を切り撮ったわけですが、躍動感と生き生きとした表情に溢れています。なにかない日常を魅力的に変えるには、撮影者の「撮り分ける力」が必要です。あらゆる視点で、あらゆる角度から被写体に興味を持ち、アプローチできる発想の広さが作品から感じられました。日常のスナップでも面白くできるのが写真の魅力だということを証明してくれました。(熊切)

第194回 TopEye賞 受賞

岡崎 ひなたさん

受賞のコトバをどうぞ!!



この度は、TopEye賞への選出ありがとうございます。この作品は、合宿中に公園で出会った子たちを撮らせてもらいました。一緒に遊びながら撮ったので、3人の楽しそうな表情もとれたと思います!特に3枚目は、光がきれいに当たっているなと思い、滑り台の上から撮りました。このような賞をいただいたのは、入部から今までたくさんの人と出会い、被写体になっていただけたお陰です。感謝の気持ちを忘れず、これからも撮影を続けたいと思います。

準TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタルコンパクトカメラ W300 BK (ブラック)
- ・賞状



「私を見て」長尾 裕奈

香川県立坂出商業高等学校 1年

- D5200
- AF-S DX18-55mm
- M (1/15 秒・f/3.5)
- 露出補正: +5EV
- ISO400

作品を見た瞬間に強烈なインパクトを感じました。モニターを使った表現は様々なスタイルがあります。本作は映像が生み出す無機質さを映像の中の人物や動物、もしくは物の淡々とした表情で強調できています。更に、モデルの女性の強い視線と存在感が、モニターに埋め尽くされた空間をより異質なものを感じさせています。画面以外は見えない漆黒の演出がかけられたライティングも秀逸です。(熊切)



審査員 藤岡 亜弥

広島県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを教えて」(私は眠らない)国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

審査員 熊切大輔

東京都生まれ。東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。その後フリーランスの写真家として独立。広告や雑誌などで「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真家協会理事

写真を通して楽しみ、悩み、発見する時間こそが大切

藤岡 亜弥

今回も各作品がせめぎあい、悩ましくも刺激的な審査になりました。年度末という時期のため写真の作り方にも力がついてきており、技術的な実験の効果が表れている作品や、想像力豊かでパワフルな表現写真が多く、我々審査員を唸らせました。今回は新しい高校の参戦も目立ちました。写真の完成度も大切ですが、撮ることに夢中になって仲間と刺激し合い、写真を考えることで何かを発見していくことにこそ意味があります。それが写真に表れて私たちは感動するんだと思いました。しっかり悩み、楽しんで作品を作ってください。

入選

賞品

- ・ニコンオリジナルグッズ FLX トートバッグ
- ・賞状



「Real me」中野 芽維

同志社女子中学校・高等学校 (京都府) 高校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 24-105mm
- M (1/60 秒・f/4) (2枚とも)
- ISO400 (2枚とも)

たくさんの顔、顔、顔!2枚の縦位置の写真ですが、まるで1枚の写真のように見えます。最近自分の顔が気になる妹さん(13歳)を巻き込んでの撮影だそうですが、写真の表情と本人の表情のギャップがタイトルと共鳴しており、レトロな色もいい効果になっています。(藤岡)

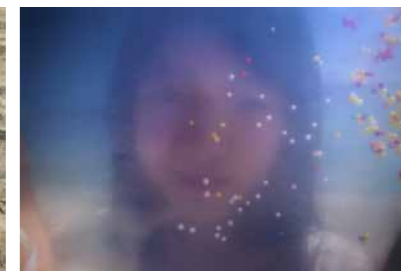


「み〜つけた」菅 開智

愛媛県立今治北高等学校大三島分校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm
- Aオート (f/3.5)
- ISO100

さすが愛媛!みかんがたわわになってます。落ちたみかんからのアングルもいい。光の取り込み方も上手です。何より、みかん農家のおじさんの表情がこの写真のポイントです。いいコミュニケーションを取りながら撮影したのだらうと想像できます。(藤岡)



「NO.2」新垣 梨乃

沖縄県立知念高等学校 2年

- D3500
- AF-S DX18-55mm
- M (1/4000 秒・f/4.5, 1/320 秒・f/8, 1/1600 秒・f/4)
- ISO100 (3枚とも)

3枚の写真で織りなす不思議な物語。青い空、白い砂浜、海、そして風船という完璧な舞台に、女の子というモチーフ。謎かけのようなドラマに引き込まれました。清々しくて甘酸っぱい雰囲気も漂わせ、想像力を掻き立てるいい組写真です。タイトルの意味も気になります。(藤岡)



「間に合せ!!」 對馬 暉一郎

岩手県立盛岡第三高等学校 1年

- COOLPIX P610
- Aオート (f/3.3)
- ISO6400

朝から活発に活動する元気な弟を撮影したそうです。そのコミカルなアクションと表情に、思わず見る側も笑みがこぼれます。審査員には「のび太くん」にしか見えませんでした。いいモデルを見つけましたね。これからもどんどん弟さんを撮り続けてください!(藤岡)



「華と花」脇田 和磨

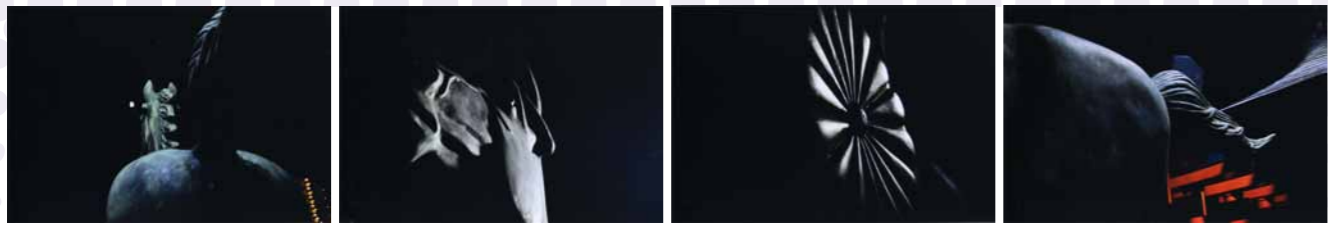
大阪府立布施工科高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 50mm
- オート
- ISO6400

絵になるいい写真ですね。縦位置のフレーミングも良かったですし、花火と後ろ姿のバランスもいい。浴衣の女性の髪飾りの花も利いていて、タイトルの「華と花」に納得。ブルーがかった色といい、ボケ感といい、幻想的な雰囲気の心地よい写真になりました。(藤岡)

受賞ポイント

- TopEye賞 100ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) 50ポイント
- 準TopEye賞 70ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) 30ポイント
- 準佳作 (20作品) 20ポイント
- ※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!



「天馬で届け」飯田 素直
大阪府立成城高等学校 2年

●D3200 ●AF-S DX18-105mm
●M (1/15秒・f/4、1/8秒・f/5.6、1/125秒・f/5.6、1/6秒・f/5.6)
●露出補正:-0.3EV (4枚とも) ●ISO1600 (4枚とも)



「祈り」馬島 好花
鳥根県立大田高等学校 2年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Pオート ●ISOオート



「あわの世界」上野 桃子
山口県立下松高等学校 2年

●D5600 ●AF-S DX18-140mm ●Aオート (f/6.3)、Sオート (1/200秒)、Sオート (1/2000秒)
●露出補正:+0.7EV、+0.7EV、-0.3EV ●ISO160 (3枚とも)



賞品

・ND オリジナル
リバーシブルポーチプロ
・賞状



「サプライズ」竹内 よしの
福井県立丹生高等学校 2年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/5) ●ISO320



「旅のひととき」上杉 史佳
広島県立広島商業高等学校 1年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/5.6) ●ISO100



「幻影」杉本 るな
北海道帯広工業高等学校 1年

●デジタル一眼レフカメラ
●18-55mm ●Aオート (f/7.1)
●露出補正:-1EV ●ISO800



「狙いを定めて」
中村 美晴
八代白百合学園高等学校 (熊本県) 1年

●D3200 ●AF-S DX18-200mm
●Aオート (f/8) ●露出補正:-0.7EV
●ISO400



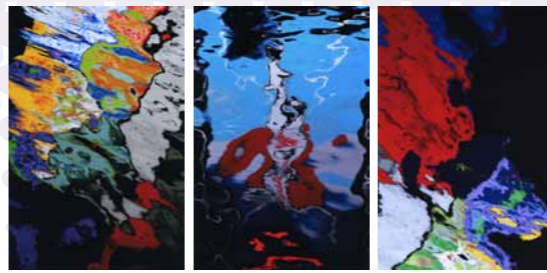
「本当の私」前田 瑞希
宮城県白石工業高等学校 3年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート (f/5) ●露出補正:-1.3EV ●ISO6400



「野球少年」近藤 樹里
愛知県立知立高等学校 2年

●D3400 ●AF-S DX28-80mm
●Pオート ●ISOオート



「サイケデリックOsaka」市橋 実奈 大阪府立成城高等学校 2年



「牛郎織女の花嫁」石井 百香
群馬県立富岡実業高等学校 2年



「ミラージュ」中平 真白
高知県立高岡高等学校 3年



「内側/外側」大城 聖南 沖縄県立浦添工業高等学校 2年



「残像の交叉点」藤本 美亜
同志社女子中学校・高等学校
(京都府) 高校 2年



「僕の青春」清水 咲良
香川県立坂出商業高等学校 2年



「ノスタルジア」平井 康生
奈良県立王寺工業高等学校 3年



「放課後」儀間 梨々香
沖縄県立浦添工業高等学校 3年



「青春群像」森田 聡子
埼玉県立妻沼高等学校 3年



「活劇」米本 朱里
千葉県立四街道高等学校 2年



「輝き」高橋 舞弥
広島県立広島商業高等学校 1年



「私だけ」塩川 健生
大阪府立成城高等学校 2年



「策路家」阿部 拳士朗
宮城県白石工業高等学校 3年



「ドーゾ」宮武 侑加
香川県立坂出商業高等学校 1年



「電気街と生きる」片桐 菜耶
宮城県白石工業高等学校 2年



「放課後の戯れ」高橋 愛果
愛媛県立今治北高等学校大三島分校 1年



「飛散」中井 千尋
和歌山県立神島高等学校 2年

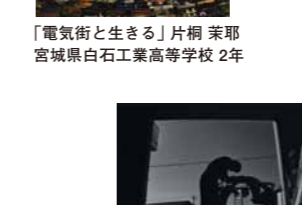


「イエーイ!」鈴木 麻由
宮城県白石高等学校 2年

●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●M (1/1000秒・f/5、1/40秒・f/4.5、1/25秒・f/5.6、1/100秒・f/4.5)
●ISO400、800、800、1600



「しあわせの隠れ場所」對馬 曜一郎
岩手県立盛岡第三高等学校 1年



「Re:pair」湯川 紗愛 和歌山県立神島高等学校 1年



「タフネス クリスマス」島袋 禎礎 沖縄県立知念高等学校 2年



TopEye
フォトコンテスト
2019年度
順位発表!

最優秀賞 和歌山県立神島高等学校 1位 320ポイント

優秀賞 宮城県白石工業高等学校 2位 260ポイント

敢闘賞 群馬県立富岡実業高等学校 3位 230ポイント

- 4位 八代白百合学園高等学校(熊本県) 230ポイント
- 5位 千葉県立四街道高等学校 210ポイント
- 6位 福井県立丹生高等学校 200ポイント
- 沖縄県立知念高等学校
- 8位 香川県立坂出商業高等学校 190ポイント
- 沖縄県立浦添工業高等学校
- 10位 大阪府立成城高等学校 180ポイント

(以下 獲得ポイント順) 愛媛県立今治北高等学校大三島分校/鳥根県立大田高等学校/広島県立広島商業高等学校/山口県立下松高等学校/神奈川県立瀬谷高等学校/新潟県立長岡農業高等学校/伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校(群馬県) 他

2019年度のポイント獲得校 63校!

※3位、4位は同点でしたが、入賞内容に基づいて群馬県立富岡実業高等学校を敢闘賞とさせていただきます。

TopEye 1/31 ~ 2/2

全国高校生写真サミット2020

密着レポート!!



今回も「横浜美術館」で開催されました。

高校生とともに写真を探求した、6人のプロ写真家の先生方



熊切 大輔先生



藤岡 亜弥先生



秋元 貴美子先生



秋山 華子先生



水咲 奈々先生



ミゾタユキ先生

TopEye
フォトコンテストで
好成績をおさめた
15校が
横浜に集結!



遠藤 花恋さん、手塚 小春さん、八巻 凜さん、山根 正博先生



佐藤 希乃花さん、佐藤 大輝さん、會田 月音さん、八嶋 圭吾先生



村田 みことさん、志賀 美月さん、佐々木 日和さん、服部 久典先生



石井 百香さん、篠原 謙吾さん、石田 智千都さん、布田 紀佳先生



岡 優成さん、米本 朱里さん、太田 優李さん、長沼 宏幸先生



市原 大さん、今藤 真莉奈さん、鈴木 春菜さん、石川 順一先生



京藤 和さん、竹内 よしのさん、岡 勇汰さん、竹内 祐子先生



西田 悠雅さん、市橋 実奈さん、西村 七海さん、山口 晴久先生



湯川 紗愛さん、道畑 あおいさん、太田 真緒さん、恵那 崇先生



馬島 好花さん、田中 柚木乃さん、小笠原 利香さん、江田 修一先生



山根 はなさん、秋山 遥香さん、上野 桃子さん、藤井 孝美先生



菅 開智さん、金子 空之新さん、三川 真央さん、吉住 教人先生



井川 恵里さん、川上 智郁さん、巖本 ありさん、中西 琢也先生



大城 聖南さん、井口 咲幸さん、仲原 花海さん、大城 仁美先生

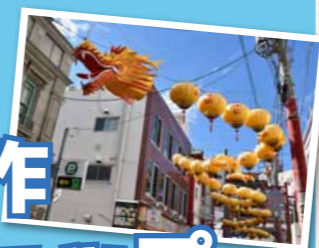


山内 優輝さん、島袋 禎隆さん、新垣 梨乃さん、比嘉 友理先生

1/31 ~ 2/1

組写真制作ワークショップ

写真家1人+学校混成の9人で5つのグループを結成。横浜の街を撮り歩き、自由テーマで作品を制作しました!



藤岡 亜弥グループ

自由に撮影する中で見た個性を磨き、作品に結晶!

もっと、ヘンな写真撮ってみようよ!



遠藤 花恋さん、會田 月音さん、篠原 謙吾さん、市原 大さん、岡 勇汰さん、道畑 あおいさん、山根 はなさん、三川 真央さん、井口 咲幸さん

秋元 貴美子グループ

光と影を意識し、高さやアングル、設定を色々試して撮影。

普段撮らないような写真も大事に!



手塚 小春さん、村田 みことさん、石田 智千都さん、今藤 真莉奈さん、西田 悠雅さん、太田 真緒さん、秋山 遥香さん、井川 恵里さん、仲原 花海さん



メンバーの写真から、自分にない撮り方や世界観を知ることができました!

秋山 華子グループ

自分の中で「レーティング」しながら、たくさん撮る!

その写真を表す「言葉」を意識して!



八巻 凜さん、志賀 美月さん、岡 優成さん、鈴木 春菜さん、市橋 実奈さん、馬島 好花さん、上野 桃子さん、川上 智郁さん、山内 優輝さん



「気に入られる」写真を意識しないで、自由に撮ることができました。



写真に「正解」はなく、自分が答えを決めていいんですね!

水咲 奈々グループ

初めての仲間には学ぶことがたくさん。真似も積極的に!



適正露出に加えて、+0.3、-0.3EVも撮ってみよう。

佐藤 希乃花さん、佐々木 日和さん、米本 朱里さん、京藤 和さん、西村 七海さん、田中 柚木乃さん、菅 開智さん、巖本 ありさん、島袋 禎隆さん

ミゾタユキグループ

やりたい被写体や撮り方など、新しい方法にチャレンジ。

気に入った1枚から世界を広げるのもアリ!



佐藤 大輝さん、石井 百香さん、太田 優李さん、竹内 よしのさん、湯川 紗愛さん、小笠原 利香さん、金子 空之新さん、大城 聖南さん、新垣 梨乃さん



先生の写真のセレクトに、「こんなやり方もあるのか」と目がウロコ!



組写真の選び方や組み方が、少し分かった気がします。もっと挑戦したい!



組写真の選び方や組み方が、少し分かった気がします。もっと挑戦したい!

作品準備

時間が迫るなか、超特急で仕上げ!!

明るくアセってます!!



パネルに貼るまでが作品づくり。

プレゼンテーション

「生徒1分・先生1分」で発表と講評。

力作が画面に大写し!

緊張しても、笑顔は忘れずに。



名物「TopEyeバーガー」

懇親会

先生も交えて参加者で大盛り上がり!

先生方も、高校生も、がんばりました!

緊張もとけて...

もちろん記念の自撮りも!

ともに頑張った仲間に、熱いメッセージ。

食べまくり!



写真講演会

熊切先生の写真講演会「写真が動かす心」

見る人がそれぞれの思いを投影できる「ストーリーのある写真」、もっと撮りたくなる「自分の心を動かす写真」、その時・その場所を切り撮る「瞬間を活かした写真」をキーワードに、作品づくりの発想を語っていただきました。

自分も人もワクワクさせてくれる写真を!

学生の頑張った写真が、今の自分にヒントをくれてる!

続けることは、夢を追い続けること!

表彰式 6つの写真家賞を発表



第194回TopEye賞、2019年度の年度賞発表も!



楽しくハードな3日間...大きな一歩になりました!!

TopEye 全国高校生写真サミット2020

賞品

賞状、ニコンダイレクトオリジナルノートブック、Nikon F3デザイン

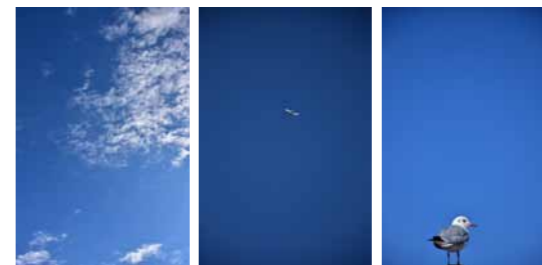


ワークショップで担当したメンバー以外の作品から、各賞を選んでいただきました。

熊切大輔賞



「青を歌う」秋山 遥香 [山口県立下松高等学校]

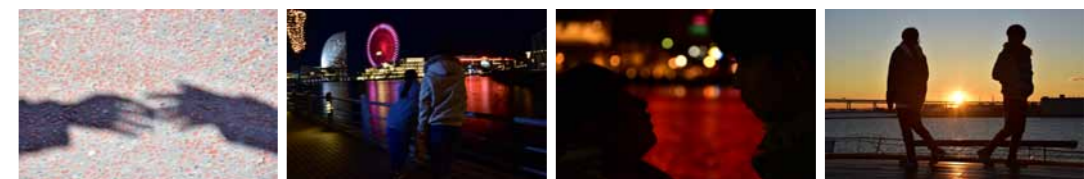


(作者の発表コメント)二人の女の子の明るさや歌に、「彼女がいるから空が青いんだ」と感じました。空白を多くとり、歌が広がり響いていく様子を表現しました。(先生のコメント)横浜のテーマカラー「青」を徹底して軸にした作品づくりが深い。その青を空だけで表現したのもすごいと思いました。

藤岡亜弥賞



「恋の起承転結」石井 百香 [群馬県立富岡実業高等学校]

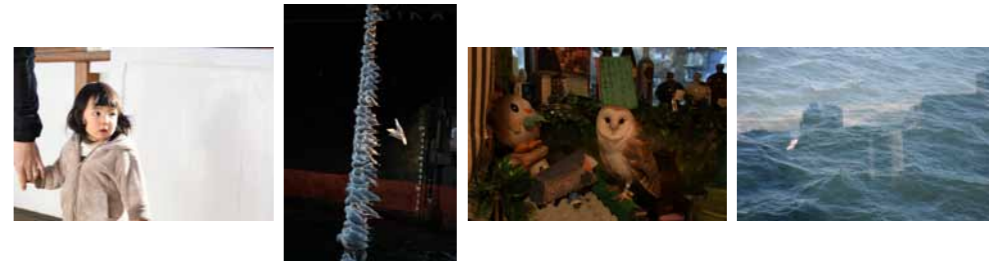


(作者の発表コメント)「運命の出会い」と感じた二人のデート。どぎまぎした時間が過ぎ、互いに向き合った時感じた異変。「この人、運命の人じゃない!」(先生のコメント)組写真でストーリーを語りながら、横浜の景色をロマンチックに見せてくれました。いいな、高校生ってやっぱり恋なんだな。

秋元貴美子賞



「不思議な夢」大城 聖南 [沖縄県立浦添工業高等学校]



(作者の発表コメント)群れからはぐれる鳥、怪しい光の中のフクロウ、海に浮かぶ街...。女の子が見た夢をテーマに、抽象的な組写真にチャレンジしました。(先生のコメント)一つ一つのシーンに真摯に向き合い、「夢」というテーマが出てきました。こうしてイメージを重ね、紡ぎあげるのも組写真の醍醐味です。

秋山華子賞



「旅路」小笠原 利香 [島根県立大田高等学校]



(作者の発表コメント)風に吹かれてこの街に来た主人公。2,3枚目はこの街での出会いを表現し、4枚目でまた次の街へ旅立つ様子を表現しました。(先生のコメント)「風」の温度や速さを感じさせる写真。季節が巡る中での出会いや別れまで連想し、思わずセンチメンタルな気分になりました。

水咲奈々賞



「凍える横浜」山内 優輝 [沖縄県立知念高等学校]

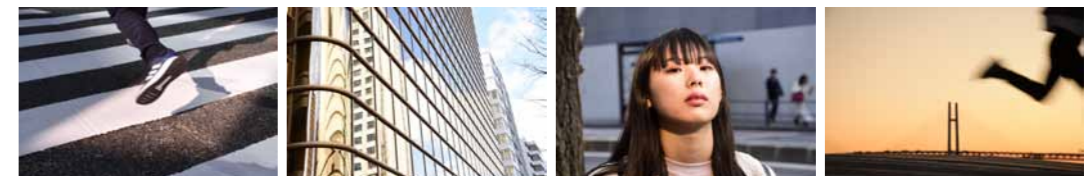


(作者の発表コメント)撮影で人に声をかけても避けられることが多く、「冷たいなあ」と思い選んだ4枚。人以外の被写体で表情を表すのが大変でした。(先生のコメント)異なる被写体・撮り方を同じトーンに揃えた技術力、感じた温度をテーマにした企画力、それを発表できたアピール力が素晴らしい!

ミゾタユキ賞



「1日限りの恋」篠原 謙吾 [群馬県立富岡実業高等学校]



(作者の発表コメント)ある女に一目惚れした男。追いかけて想いを伝えたら、女はゴミを見るような視線。男はショックを受け、夕日に向かって走り去った。(先生のコメント)絵コンテでストーリーを作る作業を、撮影しながら頭の中で行っていて見事。心の躍動感と、女の子との距離感がよく表現されています。



「追憶」
遠藤 花恋
[宮城県農業高等学校]



「あおが始まる」
手塚 小春
[宮城県農業高等学校]



「ガラスの中の冒険」
八巻 凜
[宮城県農業高等学校]



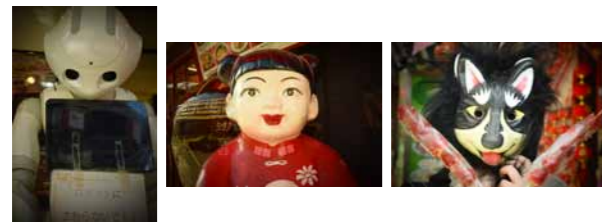
「面影」
佐藤 希乃花
[宮城県白石工業高等学校]



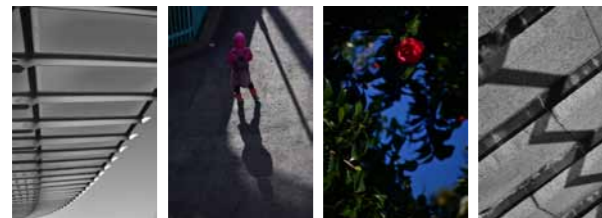
「やる気の有無」
佐藤 大輝
[宮城県白石工業高等学校]



「私が過ごした横浜の朝」
會田 月音
[宮城県白石工業高等学校]



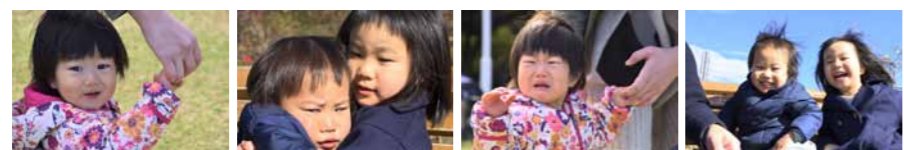
「ロボット、人形、人間」
村田 みこと
[新潟県立長岡農業高等学校]



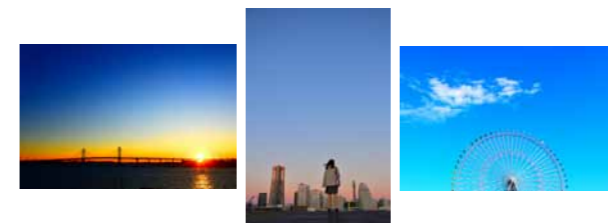
「自然の創造」
志賀 美月
[新潟県立長岡農業高等学校]



「関係性」
佐々木 日和
[新潟県立長岡農業高等学校]



「晴・雷・雨・快晴」
石田 智千都
[群馬県立富岡実業高等学校]



「街と空」
岡 優成
[千葉県立四街道高等学校]



「少女の見る世界」
太田 優李
[千葉県立四街道高等学校]



「存える」
米本 朱里
[千葉県立四街道高等学校]



「New Cosmo World」
市原 大
[神奈川県立瀬谷高等学校]



「道を照らす」
今藤 真莉奈
[神奈川県立瀬谷高等学校]



「侘しい町並」
鈴木 春菜
[神奈川県立瀬谷高等学校]



「繋がる輪」
京藤 和
[福井県立丹生高等学校]



「上を目指せ!」
岡 勇汰
[福井県立丹生高等学校]



「宇宙都市」
竹内 よしの
[福井県立丹生高等学校]



「紅藍おちゃらけ合戦!」
西田 悠雅
[大阪府立成城高等学校]



「アンコール」
市橋 実奈
[大阪府立成城高等学校]



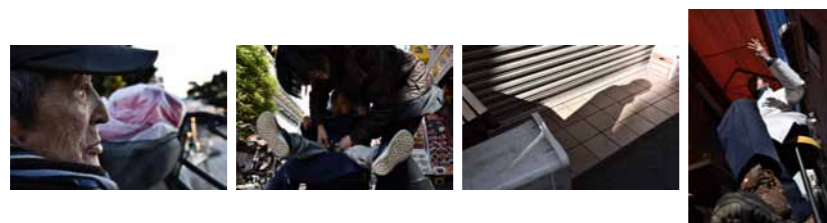
「斜影」
西村 七海
[大阪府立成城高等学校]



「見た世界」
道畑 あおい
[和歌山県立神島高等学校]



「徴証」
太田 真緒
[和歌山県立神島高等学校]



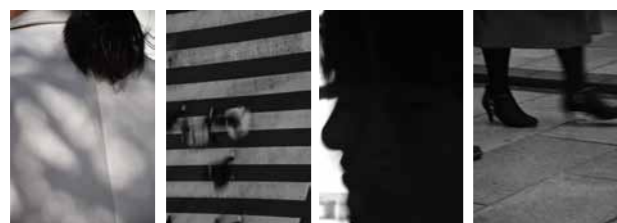
「待つ」
湯川 紗愛
[和歌山県立神島高等学校]



「営み」
田中 柚木乃
[島根県立大田高等学校]



「からっぽな日常」
馬島 好花
[島根県立大田高等学校]



「バイスタンダー」
山根 はな
[山口県立下松高等学校]



「赤い靴」
上野 桃子
[山口県立下松高等学校]



「不確かなもの」
三川 真央
[愛媛県立今治北高等学校大三島分校]



「不安」
菅 開智
[愛媛県立今治北高等学校大三島分校]



「予感」
金子 空之新
[愛媛県立今治北高等学校大三島分校]



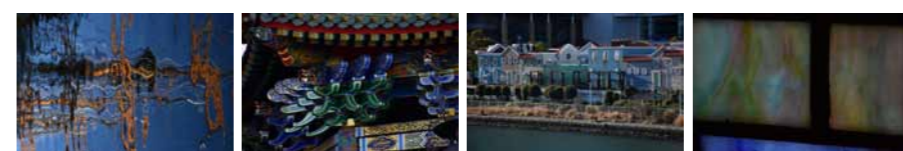
「ささやかな幸せ」
井川 恵里
[八代白百合学園高等学校(熊本県)]



「相棒」
川上 智郁
[八代白百合学園高等学校(熊本県)]



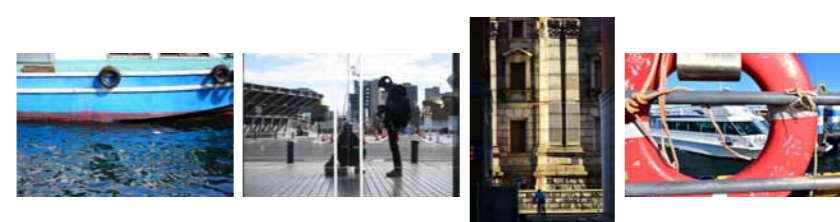
「愛のかたち」
嶽本 ありさ
[八代白百合学園高等学校(熊本県)]



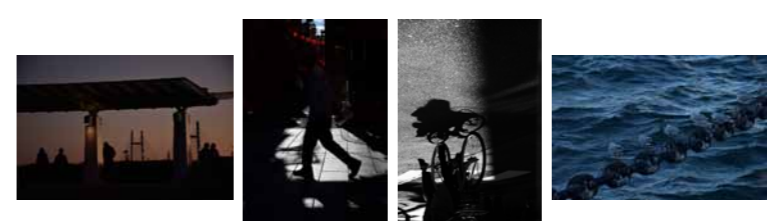
「横浜ワンダーランド」
井口 咲幸
[沖縄県立浦添工業高等学校]



「ふたりの時間」
仲原 花海
[沖縄県立浦添工業高等学校]



「ボクはツッパシる」
島袋 禎礎
[沖縄県立知念高等学校]



「街色」
新垣 梨乃
[沖縄県立知念高等学校]

掲載の全作品を
ニコンプラザで展示します。
スケジュールは
裏表紙を **CHECK!**

ガンバシ 写真部!!

今回訪問したのは熊本県立第二高等学校。実は全国屈指レベルの「美術科」があり、授業の手法を写真部の活動にも採り入れているんだって。なるほど、たくさんの印象的な作品を「TopEyeフォトコンテスト」に応募していただいているのも納得です。さてその素顔は??

熊本県立第二高等学校



ピースサインにゃありません。熊本第二の「2」です!!

後列:新川くん、美野田さん、立川さん、Joshua先生、Valeria先生、顧問の一本先生
中列:奈須さん、末岡さん、森さん、後藤さん、山田さん、坂本さん、野田さん
前列:渋谷さん、吉田さん、中尾さん、大保さん、田中くん、遠山さん、甲斐さん

屋上が、みんなのスタジオ!!

取材当日は、撮影によく使うという校舎の屋上へ!市内全域が見晴らせ、向こうにはうっすら阿蘇の山々。晴れた日には広々とした夕焼けが楽しめるといいます。しかも一角には、巨大な天体観測ドーム!5月、8月には地学部がここで泊りがけの天体観測会を行い、その時に写真部も便乗して「お泊まり撮影会」をするそうです。他にも、学校行事や他部の試合で撮った写真のデータを学校の人に配って感謝されたり。いろんな方向につながっている感じがいい!



部長の野田さん
なにげない風景も「撮るつもり」で見ると、意外な発見があるんだって☆

1年副部長の中尾さん
撮った写真を見返すと、意外な発見もありますよ〜。

1年副部長の田中くん
サッカー部の試合を撮影!けっこう感謝されています。

2年副部長の森さん
旅行先で撮るのが楽しくなりました。

「自然体」50000人の写真展「心に残る1枚」by 松任谷正隆氏

「自然体」50000人の写真展「心に残る1枚」by 松任谷正隆氏

腕章は歴史を感じるオーソドックスなデザイン!

Joshua先生 写真歴16年、自然さも大切にしたい人物写真を撮りたい!

年に1度の部展、3月にやります!
第二高校写真部 第4回写真展「紫輝」
2020年3月7日(土)~15日(日)
於:熊本県立劇場(熊本市中心区)

アメリカから来た英語の先生も参加!

部員: 24名(1年8名、2年12名、3年4名は引退)
歴史: 1966年、学校創立5年目に創部。半世紀超えの歴史ある部です!!
活動: 水・木の週2回全員集合し、連絡や「校内審査」、校内で撮影活動など。休日には近隣の祭りや撮影スポットでの撮影会や、卒業生にモデルを頼んでポートレート撮影会も。他部の試合や演奏会、学校行事などの撮影も盛ん。
機材: 一眼レフカメラ6台、プリンター3台、暗室もあり。
部費: 学校からの予算が約20万円。インク代約10万円、用紙代約8万円、写真展会場費5千円、作品送料約1万円、その他。足りない場合は部員が出し合うことも。あと、入部時に自分の作品の額(A3サイズ)を購入!
部費節約のいそがしA4に印刷せず、まずL判で色を確認!
ポイント:

2019年度の実績!

- ★TopEyeフォトコンテスト 第191回準佳作、第192回佳作
- ★阿蘇くまもと空港フォトコンテスト2019 (高校生以下の部)入選
- ★くまもとスポーツフォトコンテスト2019 (高校生の部)優秀賞
- ★写真甲子園2019九州ブロック進出
- ★第41回よみうり写真大賞 (中学生フォト部門)佳作
- ★県高文連写真コンテスト 春季 優良賞、前期 優良賞

顧問の一本先生
「なんか、いつも写真撮ってる」と評判

副顧問の平木先生
「なんかカワイイ癒し系♡」と評判

【先生の教え】
●写真=真の姿(内面)を写し出せ!
●自分が感じた感動を伝える工夫を!
●良いと感じたものを好きに撮ろう!

楽しんで、考えて、撮りまくる!

「まじめな生徒が多くて…」とは顧問の先生の弁ですが、カメラを向けると即座にニコリピースで写り「どう?盛れる?」と覗き込んだり、何人かがモデル役になって、いろんな顔やポーズをしたり。そんなこんなで1時間あまり。撮った写真は数百枚という部員さんも!話を聞けば「撮った写真を見返すと、発見がたくさん!一つのをいろんな方法で撮ります」「色味だけでも雰囲気変わりますよね」etc. それぞれに考えながら、力をつけてます!

- 【主なロケ地】**
★水前寺公園、江津湖
★熊本城、城内の加藤神社
★熊本動物園
★熊本市街
★市内のお祭り
(藤崎宮例大祭、九州がっ祭など)
★同県の八代白百合学園高と、三角半島一周撮影旅行も!



もちろん学校行事も撮影!

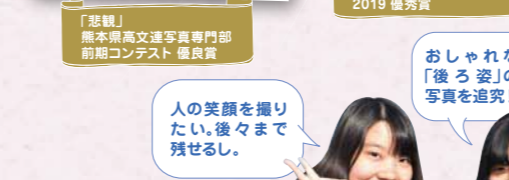
感情表現のために、構成を考えるのが好き。



愛犬クロちゃんのちゅるん系のおめめをパシャ♡



「悲観」熊本県高文連写真専門部前期コンテスト 優良賞



「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 奨励賞



「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 奨励賞

人の笑顔を取りたい。後々まで残せるし。

高文連から
熊本県高文連写真専門部では、年3回の写真コンテスト及びその作品展、年2回の撮影・画像処理についての研修会を中心に活動しています。写真コンテスト(総出品数約2,000点)の中から次年度の全国総文祭や全九州高総文祭の作品を選出しています。また、本年12月の「第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会」では写真部門の催しが熊本で開催されますので、それに向けた準備も進めているところです。

ダンス好きの妹の、はっちゃけポーズをパシャリ。

「parasitism」熊本県高文連写真専門部前期コンテスト 入選

「写真部の一瞥」第41回よみうり写真大賞 中学生フォト部門 佳作

「忍苦」熊本県高文連写真専門部春季コンテスト優良賞 全九州高総文祭宮崎大会出品

森さんをモデルに即席撮影会開催!!

野田さん撮影

坂本さん撮影

後藤さん撮影

モデルも担当!

校内審査でみんなの考えを聞くのが面白い!

自然体の人の、意外な表情を見つけたい!

友達の、豊かな表情を追っかけてます!

先生と一緒に「NIKON」ポーズ!

はっちゃけてます!突き詰めてます!

入賞の秘策?!「校内審査」
コンテストが近づくと、全員で行う校内審査。この学校にある「美術科」の手法を取り入れたもので、作品を掲示して、作者が前でプレゼンし、みんなで質疑応答やアドバイスをするというもの。これを始めてから、みんなの作品にだんだん個性が出て、コンテストの入賞率も上がってきたとか。作品についての意見を言い合うのって、部の結束にも役立ってるかもね!

学校の図書館が、常設ギャラリー!

背景とか、光の当て方を工夫するようになりました。

「これだ!」の一枚が撮れるまで、何回も挑戦!

みんなの意見が「こやし」になる!!

「これだ!」の一枚が撮れるまで、何回も挑戦!

「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 優良賞

写真部にいなければ、なかった出会いがたっさん。

伏し目がちな目を、まっつけを通して観察&撮影!

写真部に入って、メイクを覚えました(笑)

おしゃやかな「後ろ姿」の写真を追求!

「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 優良賞

「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 優良賞

「厳粛」くまもとスポーツフォトコン 2019 優良賞

「第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会」へ向けて活動中
熊本県高等学校文化連盟写真専門部専門委員長 廣友 徹治



TopEye ★「ありがち」写真から一步踏みだす!

「フォトスター」

いつもの被写体でグッと魅力的な写真が撮れるちょっとした工夫を、毎回ご紹介!



今月のテーマは…

学校で、手づくりの「写真展」を開催しよう!

これまで部員みんなで撮りためてきた作品をセレクトして、写真展を開くのも楽しいよ。学校を会場にすれば、みんなで取り組める。入学期や文化祭を目指して、計画スタート!

ホントにおすすめ

写真展を開くと、**たくさん!**

「撮る」ばかりじゃなく「観せる」場を設けることは、実はいろんな効果・効能がある。ぜひみんなで取り組んでほしい。



◎ お互いの技を学べる!

自分や部員の作品を、大きなサイズできちんと展示してじっくり観る。そこから得られる学びやヒントは多い。上達のコツがつかめるかも。

◎ 外部の人の意見ももらえる!

写真部以外の友達や先生、家族にも作品を観てもらおうチャンス。感想や意見ももらえると、今後のヒントになるよ。

◎ 部の団結力もバッチリ!!

写真展の開催にあたって、話し合いや共同作業はとて多い。全員で協力して乗り越えれば、団結力が上がって盛り上げられるぞ!



POINT

展示会場に合わせて「作品選び」!

きちんと写真展を開くには、計画性が必要。全員で考えたり手分けしたりして、良い写真展を目指そうね!

STEP 1 展示に使える空間を探そう

空き教室があればベストだけど、難しい場合は廊下や図書館の一角、共用スペースなどでも結構いける。学校を歩き回って、会場探しと交渉を!

STEP 2 展示数は「広さと間取り」から算出

展示できる壁の幅や高さなどを正確に測り、作品のサイズと合わせて「何点展示できるか」をはっきり算出しておけば、展示作業も効率よくできるよ。

STEP 3 作品は多めに持ち寄り、全員で検討

各部員2~3作品を目安に用意し、全員で展示作品を話し合う。同時に写真展のテーマも考えたいところだ。1度で決まらないかもしれないので、早めにやろうね。

STEP 4 展示の順番は事前に決めておく

絞り込んだ作品を「観る順番」を想定して並べ、流れを確認しながら決めていく。展示テーマがあるなら、それを念頭に話し合うといい。



ちょっとCHALLENGE

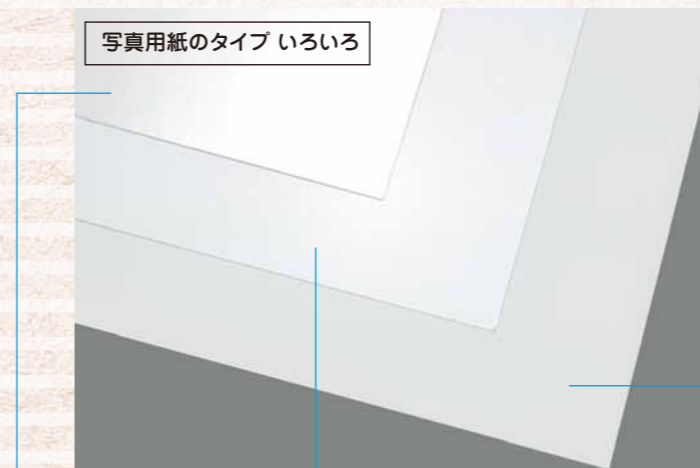
「会場模型」で展示イメージをつかむ!

写真のインデックスプリントのサイズに縮尺を合わせ、できるだけ正確な会場模型を作ると、展示の様子が把握しやすいよ。挑戦してみては?

POINT 2

展示作品は「プリント」も大事!!

撮影と同じくらい重要なのがプリントだ。正しい用紙・サイズで作品の魅力を損なわないように!



光沢紙

染料インクの発色を美しく再現する反面、光をよく反射するので、照明によっては写真が見にくいかも。

半光沢紙

光沢紙よりも反射が抑えられ、鑑賞しやすくなる。指紋がつきにくいのも利点。

マット紙

光の反射を抑える「つや消し」の表面感。モノクロ写真の雰囲気美しく演出できる。

サイズはA4サイズ~がおすすめ

写真はサイズが小さいと、作品の魅力が半減してしまう。人に観てもらおう作品でもあるし、最低でもA4サイズでプリントしようね。

予算があれば写真店が安心

写真店に頼めばクオリティの心配はない。プリントの数が多ければ、まとめて多少安くできる場合もある。近くの店に相談してみよう。



POINT 3

「パネル仕上げ」や「額装」で、展示会感UP!

よっぽどの意図がない限り、写真を壁に直接貼るのはナシ。きちんと仕上げ、「作品」として観てもらおう。



パネル仕上げ

一番安くできるのがこの方法。100均ストアなどにもある、片面に糊がついた「スチレンボード(ハレパネ)」が便利だよ。

写真より大きめのサイズに貼って、余白をカットすればきれいに仕上がる。貼る時は写真が波打ったり気泡が入らないよう注意!



額装

作品の見栄えがUPし、観る人にも好印象!大きな文具店やカメラ店で手に入る。部でまとめて買い、写真展のたびに使い回しをすると良い。

アルミ製フレームの例。他にも木製などがある。値段は様々なので、写真展の雰囲気や予算などを考えながら、比較検討してね。

開催中の心がけ!

部員が交替で在廊しよう

会場に誰もいないとお客さんに失礼だし、作品に事故でもあったら大変。各部員の都合を話し合って、期間中のシフトを組もう。

「芳名帳」を用意しよう

名前だけでも「何人来てくれた」と後々の記録になる。感想も添えてもらうといい思い出になり、励みにもなるよ。

来場者には明るくあいさつを!

入る時は声をかけないほうが気軽に入れるけど、観終わって出る人には必ずお礼を。それだけでも印象度UPだよ。



お疲れさまでした。これまでの勉強を活かして、素敵な作品を撮って行こうね!



講師/斎藤 勝則

TopEyeから生まれた今年度の傑作、集合!

2019年度「TopEyeフォトコンテスト」入賞作品展

今年度も1年間、ありがとうございました。TopEyeの誌面を飾った傑作の数々を集めた写真展を、ぜひご覧ください。



「TopEye全国高校生写真サミット2020」全作品展

今号にも掲載した「写真サミット」で、45人の高校生が写真家とともに創りあげた組写真を、全作品展します。

2019年6-9月号 TopEye賞



「ある日。雨の日。」
岡優成さん
[千葉県立四街道高等学校]

2020年2-3月号 TopEye賞



「AM 7:30」岡崎 ひなた さん
[和歌山県立神島高等学校]

2019年10-11月号 TopEye賞



「気配」太田 愛有未 さん
[福井県立丹生高等学校]

2019年4-5月号 Top Teacher賞



「夢教室」藪直隆 先生
[帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府)]

2019年12-1月号 TopEye賞



「オレのものだっ!」篠原 謙吾 さん
[群馬県立富岡実業高等学校]

新宿

3月24日(火)~3月30日(月)

10:30~18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)

ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2

東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28階
ニコンプラザ新宿 ☎03-3344-0565

大阪

4月9日(木)~4月15日(水)

10:30~18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザ ウェスト・オフィスタワー13階
ニコンプラザ大阪 ☎06-6348-9698

写真展レポート

盛況御礼

神奈川県高等学校写真連盟 令和元年度 第46回 高校生写真展

2019年12月10日~15日
会場：横浜市民ギャラリー

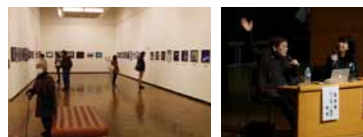
11月の県高写真連盟コンテストの全応募作品・278点を展示。東京総合写真専門学校講師の高橋和海氏による講評会も開催されました。上位入賞作品の一部は「2020こうち総文」に出品されます。



第26回 関東地区高等学校写真展

2020年1月28日~2月2日
会場：茨城県つくば美術館

関東各都県から20作品ずつ、茨城県内の高校から1作品ずつ、約160作品を一堂に展示。別会場のつくば国際会議場大ホールでは、ハービー・山口氏の講演会なども行われました。



TopEye 仲間が地元で写真展やります

お近くの写真仲間をぜひ!

下松高校美術部 特別企画展 「とびだす! ヒゲ図鑑」

3月7日(土)~8日(日)

ルネッサながと(山口県長門市)文化情報ギャラリー「アートマーケットまつり」内企画
10:00~16:00 入場無料

山口県立下松高等学校が、毎年1万5千人来場する県内の文化イベントに参加!「ヒゲ」をテーマに、巨大写真タペストリーや映像、PCと連動したアートなど様々な展示を行います。



ニコンプラザ 写真展 NEWS

TopEye 読者 OB、OG もたくさん進学している写真学校が一堂に会し、卒業制作作品を展示!

ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2

写真学校8校による卒業制作展 2020

Vol.1

2/18(火)~2/24(月)

日本大学芸術学部
東京総合写真専門学校
武蔵野美術大学映像学科
東北芸術工科大学

Vol.2

2/25(火)~3/2(月)

東京工芸大学芸術学部
東京ビジュアルアーツ
日本写真芸術専門学校
京都造形芸術大学通信写真コース

10:30~18:30(日曜休館・最終日は15:00まで)

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

写真学校3校による卒業制作展 2020

2/13(木)~2/17(水)

ビジュアルアーツ専門学校・大阪 写真学科

2/18(木)~2/21(水)

日本写真映像専門学校

2/22(木)~2/26(水)

大阪芸術大学写真学科

10:30~18:30(日曜休館・最終日は15:00まで)

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社ニコンイメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

TEL: 03-6718-3020